Vol.1_2025.5

両国まちあるき瓦版 其の壱

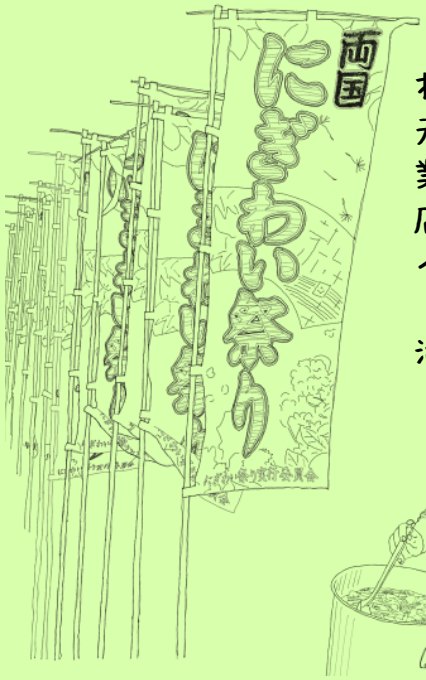
～ぐるり、めぐり、ごくり、きらり、びっくり、やはり、りょうごく～

★両国まちあるき瓦版を発行します！

墨田区では、両国の街を多くの皆さまに知っていただき、訪れていただくために、”両国まちあるき瓦版“を発行していきます。ご一読いただけますと幸いです。

そして2026年春には、いよいよ江戸東京博物館もリニューアルオープンする予定です。詳しくは、裏面を参照ください。

★両国にぎわい祭りが開催されました！



4月26日（土）・27日（日）に、春の恒例イベント”第19回両国にぎわい祭り“が開催されました。国技館通り会場では、ステージ上で地元の演者によるさまざまな催しが行われるとともに、物販、遊び、企業PRブース、さまざまな味が愉しめる”ちゃんこミュージアム“が出店し、回向院会場では、南京玉すだれ、お茶会、塗絵写経などの体験イベントが行われました。

また、復興支援ブースでは、能登半島地震、大船渡山林火災への募金活動が行われました。

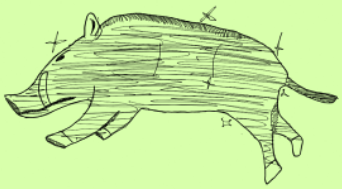
★鳥居清長忌展覧会が開催されます！(5/31,6/1)

回向院に眠る浮世絵師・鳥居清長の2日間だけの展覧会”第11回鳥居清長忌展覧会“が、5月31日（土）、6月1日（日）に回向院念仏堂で開催されます。今年は浮世絵師のみならず、話題となっている浮世絵師の版元（プロデューサー）にも焦点を当てた展示となっています。入場は無料ですので、ぜひお立ち寄りください。（両日とも10:00から17:00（入館は30分前）まで）

★隅田川マルシェが開催されます！(6/7,8)

6月7日（土）、8日（日）に隅田川テラス（墨田区横網1-2）にて、”隅田川マルシェ2025 はっけよい“が開催されます。両国エリアでの開催は、今回で6回目を迎えます。会話を楽しむマーケット、水辺空間でのくつろぎ、子どもたちの体験、相撲をモチーフにしたデザイン、クルーズなどが企画されています。川を中心に、街や人の新しいつながりの創造を目的とする本イベントに、ぜひご参加ください。（両日とも10:00から15:00まで）

★たまには、山くじらでもいかがですか！



もゝんじや

浮世絵にも描かれている享保3年（1718年）創業のしし鍋、ジビエ料理の専門店です。”ももんじ“とは、百獣のことを指します。江戸時代には、獣肉を食べることがタブーであったことから、猪肉は“山の鯨“であるという方便で食されていたと言われています。だんだん暑くなるこれからの季節、スタミナをつけて乗り越えましょう！（もゝんじや　墨田区両国1-10-2）

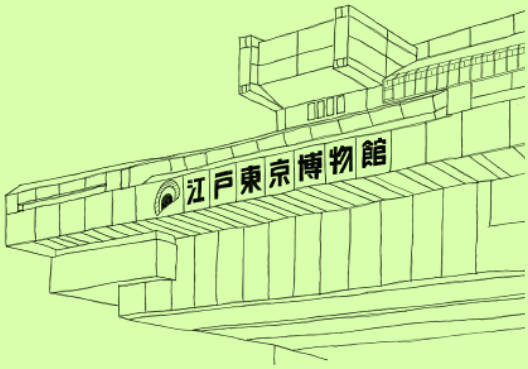
★-両国-江戸NORENへお越しください！

JR両国駅直結の”-両国-江戸NOREN“では、”美味しさと文化の今を江戸空間でつなぐ“をコンセプトに、多様な食を、歴史ある両国駅の旧駅舎のなかで、江戸の町屋を意識した吹抜け空間、火の見櫓、原寸大の土俵を囲みながら、さまざまな店舗でグルメなどが堪能できます。

また、併設の”両国観光案内所・コネクトすみだ［のれん］“では、墨田区の各種パンフレットや商品、銘菓などを取り揃えています。旅の拠点に、ぜひお立ち寄りください！

両国 江戸NOREN

★江戸東京博物館が、来春リニューアルオープンします！



1993年に開館した”江戸博“は、2022年から大規模改修工事を実施しています。東京都の施設である本館について、内外装・設備の更新、バリアフリー化、照明のLED化などを進めており、4年の歳月を経て”2026年春“にリニューアルオープンする予定です。

工事中も”まだかなえどはく“と称し、リニューアルオープンを”まだかな？“とワクワクしながら盛り上げていく取組の一環で、今年の3月には、”リニューアルオープン1年前イベント“が都庁展望室で開催され、たくさんの方が来場されました。

☆江戸東京博物館リニューアル工事中も館外展示やバーチャル・ミュージアム、その他催しなどを実施しています。

☆紙面で紹介した具体的な場所などについては、お得な特典付”両国にぎわいMAP“を参照してください。印刷したMAPは、両国観光案内所などで配布しています。

☆墨田区観光協会では、両国をはじめとする”本物が生きる街すみだ“について、地元ガイドによる”まち歩きガイドツアー“を実施しています。

エドハク

リニューアルオープンまで、あと、10か月くらい

■両国まちあるき瓦版_其の壱（Vol.1_2025.5）
■発行・問合せ：墨田区産業観光部観光課
KANKOU@city.sumida.lg.jp / 03-5608-6500
■協力：墨田区観光協会/両国協力会

☆その他の両国まちあるき情報やバックナンバーなどは、こちらに掲載していきます↓

ひと、つながる。墨田区